



オランダ国際球根協会ニュースレター 2010年01月号 VOL.010

IBC 日本コーディネーター、レン オークメイド から 新年のご挨拶を申し上げます！

2010年。今年も皆さまによいことが数多くありますように、そして、とりわけ素晴らしい球根の年になりますように！オランダ国際球根協会を代表して、球根に関わる全ての方々に、新年のご挨拶を申し上げます。

IBC オランダ国際球根協会の2010年は、もう始まっています。旧年中に得ることができた情報や経験を今年の活動に活かして行けることを今からワクワクしています。

このニュースレターでは、IBCが2010年に計画しているさまざまなプロモーション活動を、これまでも、いくつか紹介してきました。個人的には、まず1月13日(水)の「球根サミット」を楽しみにしていますし、2月には、IBCの ジャクリーン ファン デル クロート イヤー が始まります。このユニークなプロジェクトでは、ガーデニングにおける球根の使い方について全く新しいコンセプトを紹介するため、ジャクリーンさんに3つのセミナーで教えていただくことになっています。

私たちはIBCのプロモーションコンセプトに沿ってしっかりと活動をしていきたいと思っていますが、それでもなお、もっと勉強してさまざまな人達とディスカッションをしていくことが必要だと考えています。私は、今も、リサーチをしながら私たちのプロモーション活動が、どうすれば消費者に充分に行き届くのか考え続けています。また同じように、日本の球根関連商品が小売店や売り場に十分な利益を還しているのかどうかについて考えることも大切な事だと思っています。

私は、Anthos(オランダ王国花き球根・植木貿易協会)の調査資料にこんな記事を見つけました。北米での調査です。北米では球根植物への興味を持つアメリカ人の78%の人がほとんどプライスカードを見ないで買いたいと思っているという内容でした。

調査では、残念ながらこうしたお客様に共通するのは、植物に対する知識もなく、育て方も知らないということでした(だから、なかなか、手がのびない)。そこで、Anthosでは、このような調査結果を踏まえ、米市場に対して新しいマーケティング戦略を開発する必要があると考えました。そこで、彼らは自分たちで計画を立てるだけでなく、広告会社の専門的なアイデアを取り入れることで最適な方法を付け加え、そこにお金をかけています。

日本のマーケットはどうでしょうか？私は日本も同じような状況なのではないかと思っています。つまり、日本人は、消費者レベルで球根や球根切り花が好きですし、とても人気があると思うのです。しかし、残念なことに、最終顧客に至るまでの流通チャンネルにおいては、この人気はあまり意識されていないし、人気を利用しようとも思っていないのではないのでしょうか？需要を増やし、注目度を上げるための道

具として、私たちはもっと私たちの商品の人気を利用するべきではないでしょうか。

私は、日本とオランダの球根グループ全体をつなぎ、ひとつになって活動することを提案し、この2010年をスタートしたいと本気で思っています。このような共同の取り組みは、すべての球根グループにとって役立つものと信じていますし、新しいものを提案するというよりは、いままでの固定概念をすべて新しく変えていくことが必要だと強く感じています。

私は、多くの日本人が球根に対して抱いている固定概念は、一昔前のものであると気づきました。この古い固定概念が特に若い世代の花屋さんや、もちろんそのお客様に対しても新しい期待に応える障害になっている。もっと大胆で、新しい刺激になるようなことが必要なのではないでしょうか？そこでは、球根産業全体が一緒になってリフレッシュ・キャンペーンを行うことで利益も得られます。それゆえに、IBCは、売り場のマーケティングとカテゴリーマネジメントにおいて新たな視点を加えることによって、球根産業全体がもっと元気になり、力を尽くして、お客様の買いたくなる気持ちを高めていきたいと心から願っています。

Let 2010-bulb year hereby start

2010年の球根イヤー、ここに始まる

CONTENTS

「球根サミット」いよいよ開催です 13日にデモとディスカッション
ジャクリーンさんに直接学べる「ガーデンセミナー」のお申し込み たいだいま承り中！
BULBS IN POT・・・品質の良さと幅広いバラエティで差別化を図る生産者
JELFA セミナーでオランダのプロモーションを学ぶ 2月26日（金）
ほんとうのバレンタインを花で楽しみましょう

CONTENTS

「球根サミット」いよいよ開催です 13日にデモとディスカッション



12月号でもお知らせしました、「球根サミット」いよいよ始まります。デモは月曜日の朝早く1階の仲卸通りで。また水曜日は午後FAJ新館でのデモと交流会が行われます。デモは、レン オークメイドと、かねとういさお さん。面白くてタメになる、楽しいデモになりそうです。

11日、13日のデモンストレーションは両日とも「花芽付き球根」を使ったアレンジメントの作り方をお見せします。13日は、デモのあと交流ディスカッションが行われます。生産者やお花屋さん、流通関係者もたくさん見に来てくださる予定です。まだ、ディスカッションの申し込みはまだぎりぎりでも間に合いますので、ご連絡ください（連絡先は後述）。



アレンジメント展示 1月11日(月)～1月16日(土)
場所：セリ場2階通路(平日は終日、16日は午前中まで)
デモンストレーション (大田市場花き部仲卸協同組合青年部主催)
1月11日(月)午前7時～9時
場所：1階 仲卸ストリート中央部
デモンストレーション (IBC オランダ国際球根協会主催)
1月13日(水)1時から 場所：F A J新館A B
ディスカッション・・・参加者による球根に関する意見交換会
1月13日(水)デモ終了後～ 場所：F A J新館A B
<http://www.kyukon.info/kyukonsumit1.pdf>



* ディスカッション参加ご希望のかたは申し込みをお願いしています。まだ間に合います。お名前、会社名、連絡先をご記入の上、オランダ国際球根協会までファックス(03-3749-7853)またはメール(ibc@aurorajp.com)でお申し込みください。

* ディスカッションの内容：

第一部 Bulbs in Pot オランダの状況、情報、日本の消費者向けにどのように提案すればよいかなどをスライドショーとデモンストレーションで説明。
第二部 第一部の内容などについて、生産者、ガーデンセンター、市場、オランダの輸出会社などが参加してパネルディスカッション。業者、業種間の垣根を越えて、球根市場拡大のために意見を出し合い、方向性を探す。

ジャクリーンさんに 直接学べる「ガーデンセミナー」のお申し込み ただいま承り中！



オランダ国際球根協会(IBC)では、キューケンホフ公園やフロリアードのデザインも手がけるオランダの人気ガーデンデザイナー、ジャクリーン ファン デル クルト女史を迎えてセミナーを開催します。
ジャクリーンの球根植物の使い方はとてもユニーク。開花時期と色合わせを十分に計算しながら、それでいて、ナチュラルで色彩豊かなロマンチックなガーデンに仕上げる。こんな庭を作るためには植物の知識や植栽についてのプロフェッショナルな技術を要します。この機会にぜひ、ジャクリーンの考え方に触れ、直接手ほどきを受けてみてください。考え方が変わります。ただいまお申し込み承り中！ 参加ご希望の皆様は、オランダ国際球根協会へファックスまたはメールにてお申し込みください。皆様のご参加をお待ち申しています！



タイトル：21世紀の公園とガーデニング

講師：ジャクリーン ファン デル クルート（ガーデンデザイナー）、フランス ローゼン（オランダ国際球根協会本部 テクニカルマネージャー）

2月15日（月）、16日（火） オランダ大使館 東京都港区芝公園（日比谷線神谷町駅から徒歩5分）

2月18日（木） ヒルトン大阪 大阪市北区梅田（JR、私鉄、地下鉄各駅からすぐ）

時間：午前10時から午後5時（予定）

参加費用：¥8,000（ガーデニングバインダー、昼食付）



BULBS IN POT・・・品質の良さと幅広いバラエティで差別化を図る生産者



H.C.Damen社は父と息子二代で経営する会社です。もともとは野菜の生産を主に行っていましたが、次第に野菜生産は減少し、球根を中心とする生産者になりました。1965年、球根切り花生産とポット植えの球根（Bulbs in Pot）の生産をはじめました。ポット植え球根を始めたきっかけは、冬季の仕事を増やすためです。現在、会社は3つのセクションからなります。切花生産、ポット植え球根の生産とドライセール用の球根生産です。切り花用として6ヘクタールのヒヤシンス、2.5ヘクタールのスイセン、4.5ヘクタールのチューリップ用の畑があります。ポット植え用のヒヤシンス球根はほとんど自社で生産しています。



ポット植え球根のうち、75%はヒヤシンス球根（ピンクパール、ホワイトパール、デルフトブルー、ブルースター）が占めており、スイセン（テタタ）、チューリップ（フレア、イエローベイビー、プリンセスイレーネ、プラジール）と続きます。

ヒヤシンスは10月中旬（植え付けは8月）から、スイセンとチューリップはだいたい1月1日から出荷をはじめ、イースターのころまで続きます。会社の生産品の特徴として種類や品質を固定するのではなく、幅広くいろいろな品種やサイズを生産していることです。

1球入りポットには7cmと9cmの大きさのポット、球根の大きさは18/19と19/+を使用します。3球用は12cmの大きさのポット、球根の大きさは17/18の球根を使用します。5～7球用には16cmのお皿、球根の大きさは13～17を使用しています。出荷量の多くは1球と3球入りで占めています。

Bulbs in Pot 付加価値の3レベル

* レベル1

ガーデンセンターや花店でお客様が購入しDIYでアレンジする、または花店用。一番シンプルな出荷、販売方法だが、従来のように黒ポットではなく、ポットの色やラベルに工夫をするなど魅力的なアピールが必要。

* レベル2

ガーデンセンターやスーパーマーケットなどへの出荷が主となる。生産者の段階で、ポットを選んだり、簡単なオーナメントを付けて鉢物に少しおしゃれをさせる。ラベルのおしゃれも忘れずに。

* レベル3

レベル1やレベル2の鉢物を使ってフラワーデザイナーや花店が、そのデザイン力を生かして作成したオリジナルのアレンジメント(商品)

ポット植え球根に付加価値をつける最良の方法はよいポットを選ぶことです。特にヒヤシンスの場合はポットの選択が重要です。また、ポットには多くの種類がありいろいろな方法で付加価値をつける可能性があります。

もうひとつの付加価値をつける方法はラベルです。ポットに合ったかわいらしいラベルを作るとはとても重要です。

出荷量の9割は、「相対(あいたい)」で、残りの1割を「セリ」に出します。相対で出荷したのも、支払いは市場経由で行います。取引先のほとんどは、輸出業者、仲卸会社です。毎年、新しいデザインを考えることはもちろん必要です。その年のトレンドの色やデザインを考慮して、ポットやバスケット、その他の容器やラベルを考えます。

* レベル1の商品



スーパーマーケットやガーデンセンターへは、ポットやデザインを付加したポット植え球根(*レベル2)が主に販売されますが、フラワーショップへは、反対にシンプルな鉢植えの球根(*レベル1)が販売されます。これは基本的にフラワーショップにはデザイン力があり、生産者が事前にデザインを施す必要がないからです。

早春のキャンペーンとしての春咲き球根を使った「花芽付き鉢植え球根」のよい点は、長保ちする、色のバラエティが豊富、ギフト用としても最適、お客様に衝動的に購入する気持ちを喚起できる、春の雰囲気を感じることができる、などです。(Bloemenvisie などの記事から)



* レベル1の商品



* レベル2の商品



* レベル3の商品

(* 付加価値レベルの解説は、「球根サミット」の資料から引用)

JELFA セミナーでオランダのプロモーションを学ぶ 2月26日(金)

JELFA (NPO 日本 ELF システム協会) のセミナーが2月26日に行われます。今回は、「オランダの事例に学ぶ消費拡大の方法」がテーマ。講師は、オランダの商業者組織 Anthos (オランダ王国花き球根・植木貿易協会) のヘンク ウェスターホフ会長。



ヘンク ウェスターホフ 会長

テーマ 「花き業界の消費拡大を目指して オランダ Anthos に学ぶプロモーション・消費宣伝方法～オランダの実例から、日本の花き業界が進む道を探る～」

「JELFA セミナー2010 では、商業者の組織 Anthos (オランダ王国花き球根・植木貿易協会) のプロモーション・消費宣伝方法について ヘンク ウェスターホフ 氏 (Anthos 会長) をお招きし、資金の運用方法、どのようにプロモーション、宣伝をしているかをお話いただきます。オランダの取り組みから、日本の花き業界が進めるべきビジョンを考えましょう。」

日時：2010年2月26日(金) 13:30～16:30

場所：東京都 大田区 ホテルコムズ大田市場 地下1階

会費：会員 8,000円 一般 10,000円

ほんとうのバレンタインを花で楽しみましょう

<http://www.prod.bulbsonline.org/ibc/jp/publiek/collection.jsf/Inspiration/be-inspired/cut-flowers-as-a-present>



ヨーロッパでは、バレンタインは恋人たちの間だけではなく、身近な人々の間で祝う日として人気が高まってきています。贈るアレンジメントの大きさは重要ではなく、大切なのはそこに込められた「思い」。バレンタインでは未だに赤が人気の色ですが、最近ではオレンジ、ピンク、紫のパステル系の色との組み合わせも増えています。赤い色の器をできるだけ多く集め、赤い紐、リボン、枝などを加え、バレンタインらしい雰囲気を作ります。季節の花、チューリップをたっぷりと活ける！ 2月初旬の明るい日差しがあたる窓辺に飾れば、魅力的な茎がのびやかに動き出し、スペースいっぱいひろがります。バレンタインの物語や花で楽しむアイデアについてももっとくわしい情報はHPへ！



*花に「思い」を込めて伝える。こんなすてきな物語があちこちで生まれるといいですね。

雑誌フローリスト2月号、花時間2月号、など球根の花の特集が目白押し。16日には雑誌 BISES ビズ早春号(64号)が発売されます。球根好きにはたまらない季節到来です！今年も元気よく明るいスタートになりますように！

オランダ国際球根協会ニュースレター第010号 発行：オランダ国際球根協会
HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス ibc@aurorajp.com